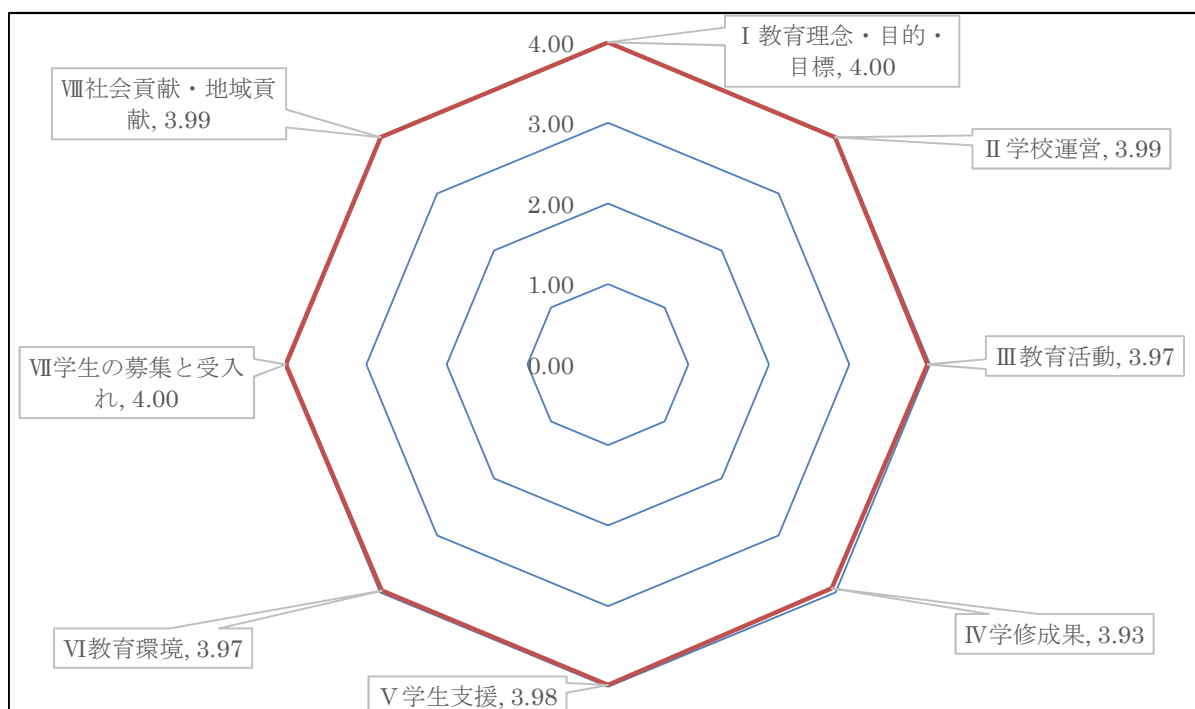


令和5年度萩看護学校自己評価報告書

1 評価結果



* 評価(平均)は、以下の評価基準に基づき、全教職員が評価を行ったものの平均を採用。

《評価基準：4 適切 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 不適切》

2 評価結果項目別内容

I 教育理念・目的・目標

教育理念・目的・目標を明文化して、教育計画や学生便覧・スクールガイド、ホームページ等に掲載しているほか、行事等の機会を捉えて学生・保護者に周知を図っている。学生募集等の機会を活用し一層の周知に努める。

また、「卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)」を定め、「育てたい業生像」等について公表している。

II 学校運営

本校の設置趣旨に基づき、運営方針を定めるとともに、重要課題を組織目標に掲げ、計画的に取り組んでおり、教職員も組織目標を反映した個人目標を立て、計画的に取り組んでいる。

組織整備については、法令等の遵守や適正な学校運営のための組織、規

程等を設け、適宜見直しており、個人情報保護や自己評価を行っている。

併せて、学校関係者評価も実施し、委員の意見を学校運営に反映させている。

令和3年度に発生した学生による実習記録の紛失事案を踏まえ、学内で検討した再発防止対策を徹底し、同様事案の再発防止に努めた。

また、ホームページを活用し教育活動などの情報発信に努めている。

情報システムに関しては、コロナ禍に必要な情報機器の整備を行うとともに、情報機器や電子記録媒体の使用に関する規定等を整備し、セキュリティ対策や機器等の維持管理に努めている。情報機器の活用により、学校でなくてもパソコンで県情報や校内データにアクセスが可能となるなど、情報共有を進めている。

III 教育活動

教育課程は、教育目的・目標に沿った編成をしており、毎年度必要な見直しを行っている。授業計画(シラバス)については、学生だけでなく、広く一般に公表している。新カリキュラムに移行し、卒業時の到達度の具体的内容について教育課程編成会議で協議し、見直しを行った。

学生の単位修得や進級・卒業については、成績評価・修了認定の基準などを規程等に定め、進級判定会議・卒業判定会議で審査し認定している。

成績評価における客観的な算出方法や卒業の認定に関する方針について、ホームページで公表している。

教員の資質向上では、教材研究に繋げる研修などの参加ができるよう教員のラダー計画に沿った年間計画を立てて実施した。

IV 学修成果

学修状況は、四半期ごとに評価し、教員で共有し活用している。国家試験対策では、全員合格をめざしチューター制による少人数指導を行うとともに、外部講師・内部講師による補講を行い、全員合格した。

就業については、概ね希望にそって就職した。県内及び北浦地域への就職促進に向け、就職支援説明会を昨年度同様に開催した。

その結果、県内就職の割合は98%で、うち25%が北浦地域へ就職している。引き続き、県内及び北浦地域への就職率の向上に努めるとともに、卒業生の状況把握等を進め、学生の支援体制の充実を図る。

V 学生支援

就職などの支援では、卒業生などによる北浦地域の就職説明会を開催している。就職先の情報を聞き、就職後のイメージ化につながっている。

学生の学習や進路、心身の健康等に関する相談には、教員やスクールソーシャルワーカーが、できるだけ適時に対応し、情報共有しながら学習支援できるように努めている。

また、事務局では、学生寮の入寮や奨学金などの経済面での相談に応じるとともに、手続き等の支援も行っている。

大学等修学支援法に基づく「高等教育の修学支援新制度」を継続実施したほか、コロナ禍による制度の変更等については、情報の正確な把握を行うとともに、学生へわかりやすく周知することに努めた。

VI 教育環境

教育環境については、引き続き、教育機器の更新、専門誌の購入など図書の実、経年変化した設備の修繕や施設・設備の整備・充実に努めた。

危機管理体制・安全管理体制では、消防訓練や生活安全講習会、防災に関する公開講座を実施した。

VII 学生の募集と受入れ

コロナ感染症が、第5類感染症となったため、コロナ感染症が流行する前に戻し、学生確保戦略を行った。山口県内の衛生看護科のある高等学校、准看護師養成施設、北浦地域の高等学校、萩市内の病院、21施設の訪問を行った。また、北浦地域を中心として、県内で開催される進学ガイダンスに17回参加し、入学生の募集を行った。6月に進路指導担当者説明会、7月にはオープンキャンパスを開催し、学校見学にも対応した。本校のメリットをアピールしながら、質の高い学生の確保に努めた。

入学選考については、体調不良者のための別室受験会場を準備し、受験の機会を持てるようにした。

来年度も、国・県・大学等の動向を踏まえつつ、志願者に配慮した最適な方法を検討する。

VIII 社会貢献・地域貢献

本校寮生の菊ヶ浜清掃活動の継続や萩市内でのボランティア活動には可

能な限り参加した。

長年の清掃活動に対し、「菊ヶ浜を日本一美しくする会」より感謝状を受けた。また、公開講座においては、「災害と危機管理」をテーマに、地元町内会他の参加も得て、開催することができた。

社会貢献としては、実習指導者養成講習会の講師派遣、大学通信教育課程の教育実習生の受け入れ、新人看護職員研修事業の検討会出席や研修支援など協力を行った。

今後とも、感染防止に留意しつつ、社会貢献・地域貢献に努めていく。